

# かせぐみ

## ◎ 進級おめでとう

新入園児2名を迎えて、かせ組での生活が始まりました。保育室も3階にあり、お家の方に作ってもらったリュックを嬉しそうに見せています。リュックがとても大きく見えるのですが、「みてみて！」と嬉しそうに背負う姿が、かわいらしいです。隣の保育室には、そら組、たいよう組がいて、大きいお兄さん、お姉さんがいる環境にもまた新鮮な様子です。「かせ組さんにはようこそ！」という嬉しい気持ちで、日常の様子は場面、子どもたちの意欲につなげていると感じています。給食の場面では、苦手なものも「食べよう！」「かじかじは(完食)しよう！」という気持ちで食べています。新入園児の名前も覚えて、名前を呼び合ひ、ごっこ遊びや粘土遊びなどを楽しむ姿も増えてきました。進級した嬉しい気持ちや意欲も大切にしながら、色々なことに興味を持ち、友だちと一緒に活動する楽しさを味わい、自分を出してのびのびと活動できるように見守ってきたいと思います。

## ◎ 揺れ動く心

先日、クラス懇談会でもお伝えさせていただいた内容ですが、3歳児の特性として、自分の中の「こうしたい」「こうなりたい」という思いと現実では上手くいかなかったり、気持ちや不安定になることがあります。相手が自分に期待していることや相手からの評価が気になり、「失敗した」「悔しい」といった時に、ちよと乱暴にぶついたり、相手を罵るような汚い言葉を使ったり、今までやっていたことを急に放り出してしまうような姿に出会うこともあります。先日、数人でカプラーで遊んでいて、上手く積めず、積み上がったものを壊したり、パットボール、キャップ入れの遊びで、上手く入らず、友だちが入れたものを全て出してしまう場面がありました。4歳後半には、もう少し自分の心をコントロール出来るようになりますが、それに至るまでは時として「困った行動」が増えることもあります。相手を傷つける言動には、しっかり話をすることが必要ですが、ただダメなことを話すだけでは、「本当は～したいんだよね」と子どもの気持ちを受けとめることが大事です。成長段階の中で、そのような姿があることを知り、保育の中やお家でも、そのような場面がこぼれ出し、出てくると思うので、お家の方と連携しながら受けとめていきたいと思っています。



# 4がっ クラスだよ

暖かく気持ちの良い陽気と共に、新年度がスタートしました。進級した嬉しい気持ちの一方で、新しい環境に不安な気持ちもあふれ、子どもたちそれぞれに色々な気持ちがあった1年だったと思います。お家の方と一緒に、沢山の子どもたちの成長の場面を見守ってきたいと思っています。

1年間 よろしく お願いします。



## そらぐみ

進級おめでとうございます。桜もきれいに咲き、まるで子どもたちの進級をお祝いしているかのようです。そらぐみは新しい友だちも増えて13人のスタートとなりました。かせぐみからそらぐみになり、保育者や部屋も変わったことで嬉しさ戸惑いもありました。保育者とも今は関係づくりの途中で、生活の流れなど一つひとつ確認しながら過ごしています。4月は園庭あそびを中心に遊びました。一人が「鬼ごっこしよう」と声をかけると、子どもは足を出して鬼決めを歌を歌い、自分たちだけで決めている姿を見ました。そんな風に決めるんだと保育者は驚きました。他にも三角馬や天狗げたを毎日のように練習し、少し手を離れて乗れるようになると嬉しそうです。ルールも子どもたちで決められるようになったのですが、ルールにとらわれてしまうことも多く、「OOあかんで！」と言われ、そこからトラブルになることもありました。大人が「それぐらいのこと」と思うことでも、子どもには大きなことのようにです。成長の過程で、イメージがさらに膨らみルールもさらに理解していきける分、まだ自分では考えられないこともあり、ルールにとらわれてしまうことがあるのが4歳児です。友だちと常に同じ思いとはかぎらないので、今は思いの違いをたくさん経験して、ちよとずつ他者の思いを受け入れられるようになってほしいなと思います。今はまだ本格的にはしていませんが、お当番ごっこのようなこともしています。机を拭いたり、給食のメニューをみんなの前で読みあげたりしています。子どもたちの様子を見て、始めていけたらいいなと思います。そこから人に対して何かをすることや、自分で出来る、何かをするという自信にも繋げていけたらいいなと思います。

## ≡ <イースター> ≡

イースターは十字架にかけられたイエスマスが3日後に復活されたことを祝う日です。イースターエッグは新しい命、象徴とされています。今年から卵は使わないので、代わりに登場したのが、ガチャガチャのカプセルです。和紙を絵の具で染めて、ちぎり、のりで貼りました。形が丸いので貼る時に指で形をととのえながら、見られました。自分だけの卵が完成し、2階の階段のおどろき場に飾った時には、「みんなに見てもらえるね」と嬉しそうでした。

これから1年間よろしくお願いします。

# たいよう組

## たいようさんになったよ

保育園で一番大きいみんなが憧れていたたいよう組です！「みんなの分もスリッパ並べた!!」「たいようさんせしこんなこともあんなこともできる!」と話す子どもたちの姿から、大きくなった喜びやこれからのあそびや生活へのワクワクが伝わってきます。一年を通して\*仲間と協力して達成する喜びを感じる \*話し合って工夫する力をつける \*自分たちで見通しを持ち、生活する力をつける この3つを柱に進め、色々な葛藤に心を寄せ、励まして育てたいと思います。就学前の大切な一年、たくさん笑って、たくさん泣いて、たくさん考えて一人ひとりの自信につながって、たらいいなと思います。



## れんげ摘み

お弁当に、バスに、れんげ摘み!!と子どもたちの期待はとて大きくなっていました。手作りのお花入れを肩からかけて出発です。バスでは「お約束」の通り、「しずかに。はなまでマスクやぞ!」と声を掛け合い景色を楽しんでいました。到着すると一面のれんげ畑に「うわー!キレイ!」と声をあげ、すぐにれんげの中でダイブしたり、れんげの中に埋もれるように夢中で摘み、「ママにプレゼントするねん」といい笑顔です。あ、という間に40分程経っていました。男の子は特に虫探しが好きで、テントウムシやちょうちょを発見し春の自然に触れて楽しい時間を過ごしました。そして楽しみにしていたお弁当です。慣れたように近くの広場でシートをたげ「いただきます!」「おはなのおにぎりやねん」「わーそれおいしいぞ!」「おがあさん好きなやつ、かりいれてくれた〜」と言葉もはずみ、おともだちと外で食べるお弁当は格別のようなようです。たくさん歩いたので、帰りのバスでは、すっかり疲れて眠っている子どももいました。今年はコロナの様子も見つ、色々な戸戸出掛けて、保育園生活最後の思い出をつくらせていきたいと思います。

